

I 基本構想

第1章 5年間の成果

平成 20 年 3 月に策定した県土整備プランに基づき「自然と共生し、未来に向けて、持続的にはばたける地域」という将来像の実現に向け、「元気：もっと県土に活力を」、「安全：もっと、暮らしに安全・安心を」、「魅力：もっと、県土に魅力を」、「環境：もっと、良好な環境を」の 4 つの取り組みを掲げ、社会資本の計画的な整備を推進してきました。また、毎年、取り組みの目標として設定した 36 の指標の進捗状況を点検し、県土整備プランの実効性を検証してきました。

見直しの方針を明確にするため、これらの指標の進捗状況を「目標を達成した指標」「目標に向けて進捗している指標」「目標達成が遅れている指標」に分類し、策定から 5 年間の成果を検証します。

1 東毛広域幹線道路の供用率	13 被災地危険度判定土数	25 屋外広告物条例制定市町村数
2 観光客総数	14 緊急支援ルートの落石等危険箇所対策数	26 市街地整備率(区画整理地区面積/市街化区域面積)
3 「日本風景街道」に参加するNPO等の団体数	15 緊急輸送路内橋梁の耐震化率	27 中心市街地の共同住宅への入居世帯数
4 洪水による氾濫から守られる区域の割合	16 地域の中核的な医療施設までの所要時間別市町村数	28 まちうち再生への取り組み市町村数
5 決壊を防ぐための強化対策済み堤防数	17 交通事故死者数	29 緊急対策踏切の未対策箇所数
6 土砂災害から守られる災害時要援護者関連施設の数	18 通学路の歩道整備率	30 公共交通機関(鉄道+バス)の旅客輸送分担率
7 土砂災害から守られる避難場所の数	19 1日当たり乗降客数5000人以上の鉄道駅のバリアフリー化率	31 自転車走行空間が区分された道路の割合
8 浸水想定区域図の作成箇所数	20 主要鉄道駅周辺歩道のバリアフリー化率	32 住宅の省エネルギー対策
9 土砂災害警戒区域の指定数	21 乗合バスのノンステップバス導入率	33 汚水処理人口普及率
10 災害図上訓練の実施	22 歩道のバリアフリー化率	34 汚水処理施設利用率
11 住宅の耐震化率	23 高齢者のいる住宅のバリアフリー化率	35 建設廃棄物の再資源化率
12 被災建築物応急危険度判定土数	24 市街地の幹線道路の無電柱化率	36 建設発生土の有効利用率

図表－1 36 の指標 (はばたけ群馬・県土整備プラン 2008-2017)

1-1. 目標を達成した指標

目標を達成した指標は 4 指標あり、その達成状況については次のとおりです。

①緊急輸送道路内橋梁の耐震化率

目標：【H19】82%→【H29】100%

緊急輸送道路は、災害発生時に避難・救助をはじめ、物資の供給、諸施設の復旧等広範囲な応急対策活動を広域的に実施するための道路であり、群馬県地域防災計画に位置づけられている道路です。

この緊急輸送道路に架かる橋梁については、国が平成 17 年度に策定した基準に基づき、橋脚の補強や橋桁が万が一ずれても落ちない落橋防止装置の設置などの耐震対策を優先的に実施してきました。

県は、緊急輸送道路内にある耐震補強が必要な 145 橋（緊急輸送道路以外の跨線橋、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋を含む）について、平成 22 年度に耐震対策を完了しました。



図表－2 緊急輸送道路内橋梁耐震対策完了位置図

②被災建築物応急危険度判定士数

目標：【H18】1,088人→【H27】1,500人

被災建築物応急危険度判定士は、大規模な地震発生後に、被災した住宅や建築物の安全性を早急に判定する資格者です。この資格者を確保することは、大地震後の住宅や建築物の倒壊等による二次災害を防止し、住民の安全を確保する上で重要です。

群馬県では、阪神大震災などの実績や群馬県地震被害想定調査(平成7年～9年度)に基づき、啓発活動等を行ってきた結果、平成23年度末に1,516人を数え、目標を達成しました。



図表-3 被災建築物応急危険度判定状況

③被災宅地危険度判定士数

目標：【H18】388人→【H27】500人

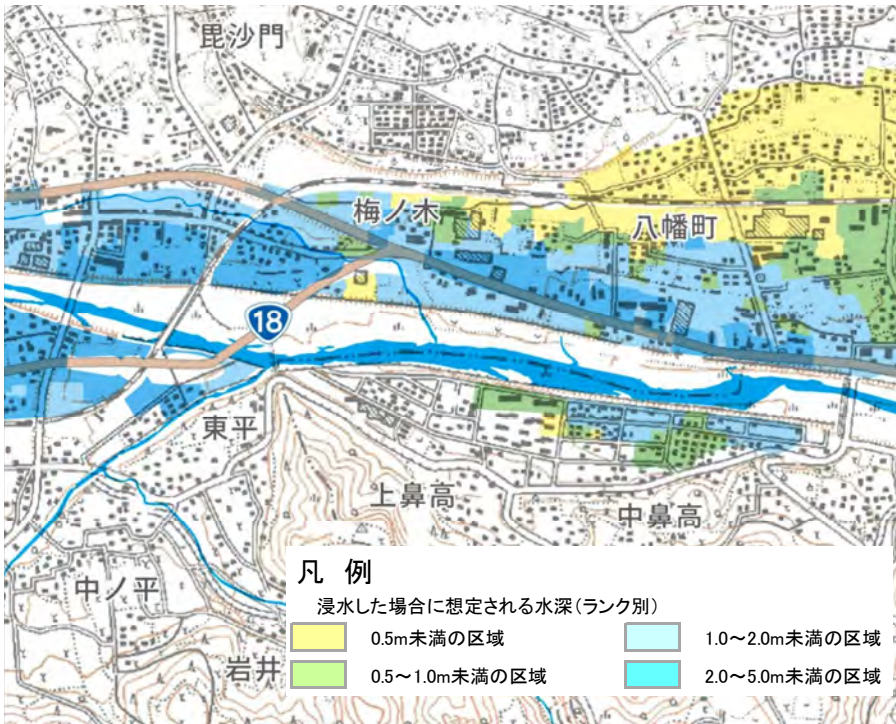
被災宅地危険度判定士は、被災建築物応急危険度判定士の考え方と同様、被災した宅地の危険度を早急に判定する資格者のことです。平成22年度末に549人を数え、目標を達成しました。

④浸水想定区域図の作成箇所数

目標：【H19】15箇所→【H21】19箇所

万が一、洪水によりはん濫等が生じた場合でも、被害をできるだけ少なくするため、事前に地域住民に対して河川のはん濫等に関する情報を提供するというソフト対策として、浸水想定区域図を作成しています。

平成18年度から水位周知河川において作成してきたところであり、目標どおり、平成21年度末までに完了し、緊急時の水防、避難活動等に活用しています。



河川名	関係する県内市町村
石田川	太田市
蛇川	太田市
早川	太田市、伊勢崎市
烏川	高崎市
碓氷川	高崎市、安中市
井野川	高崎市
榛名白川	高崎市
利根川	前橋市、高崎市、伊勢崎市、渋川市、沼田市、吉岡町、玉村町、みなかみ町
広瀬川	前橋市、伊勢崎市、太田市
荒砥川	前橋市
桃ノ木川	前橋市
赤城白川	前橋市
粕川	伊勢崎市、太田市
蕪川	伊勢崎市
谷田川	館林市、板倉町、明和町
高田川	富岡市
桐生川	桐生市
鮎川	藤岡市
鏑川	藤岡市、高崎市、富岡市

※ 浸水の深さを色分けし、浸水想定区域の範囲を示しています。

※ 策定順

図表-4 浸水想定区域図部分抜粋及び浸水想定区域図を策定した河川